

# 北山・十津川森林計画区

## 次期地域管理経営計画の検討方向

近畿中国森林管理局

# 次期森林計画の検討方向

- 個々の森林を重点的に発揮させるべき機能に応じて類型化し、**それぞれの機能類型ごとに適切な管理経営**を行い、主伐・再造林等による地球温暖化防止へ貢献します。
- 森林生物遺伝資源の保存等を目的とした「**保護林**」の適切な保護管理を行います。
- 世界文化遺産貢献の森林である参詣道や木造文化財などと一体となった森林景観の保全に努めます。
- 安全で安心できる暮らしを確保することを目的とした**治山事業**を実施します。
- 路網、高性能林業機械、列状間伐**の3つを組み合わせた**低コストで効率的な間伐を推進**するとともに、**高齢級の人工林を主伐して再造林**を行って若返りを図り、多様で健全な森林整備を通して生産される**木材の計画的な供給**に取り組みます。
- また、森林共同施業団地においては、協定団体との連携を図りつつ、計画的な事業の実施に努めます。

現行計画は、別添を参照

## 北山・十津川森林計画区の概況

【北山・十津川森林計画区位置図】



天川村、野迫川村、十津川村、  
下北山村、上北山村、

○北山・十津川森林計画区は、奈良県南部に位置し、和歌山県、三重県に接しています。

○計画区の森林面積は約135千ha そのうち国有林野は約8.7千ha（6%）。

○国有林野は、熊野川の支流、北山川及び十津川の奥地に位置し国有林野の84%が水源涵養保安林となっており、水源涵養等機能の発揮において重要な役割を果たしています。

# 森林資源の状況

○人工林が32%、天然林が68%

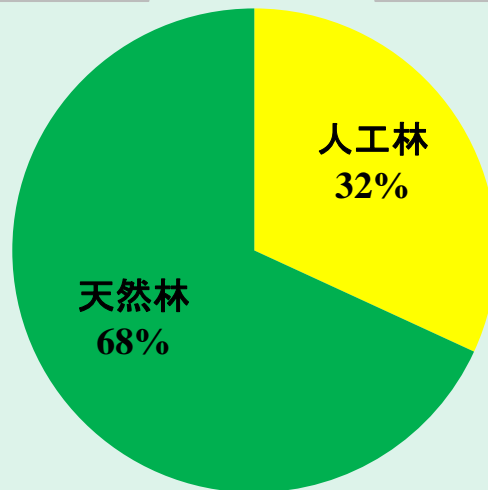
○人工林の樹種割合はスギが59%、ヒノキが31%、アカマツ・クロマツが1%等

○人工林の齢級構成は5～11齢級に集中。

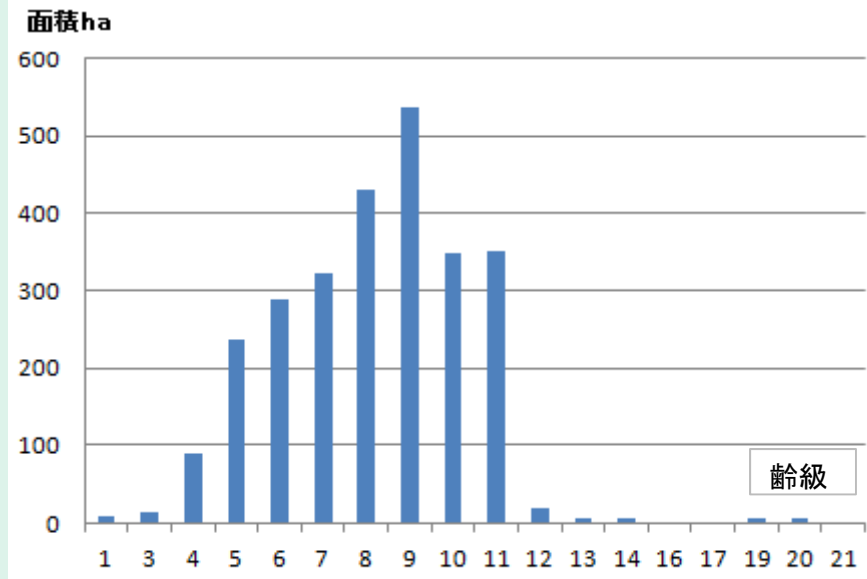
※齢級とは、森林の年齢を一定の幅(5年)をひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

5,716ha

2,674ha



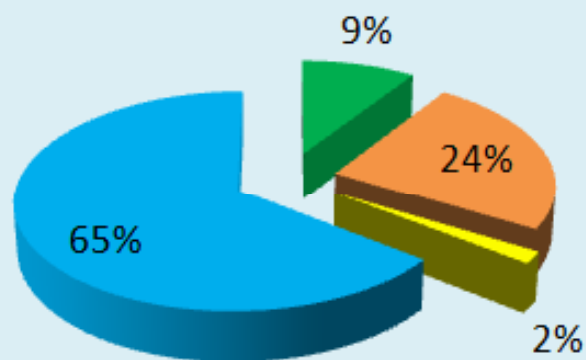
【人工林・天然林の面積割合】



【人工林齢級構成】

## 機能類型に応じた管理経営

○個々の森林を、重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型（5タイプ）に区分し適切な管理経営を行っています。



- 山地災害防止タイプ
- 快適環境形成タイプ
- 水源涵養タイプ
- 自然維持タイプ
- 森林空間利用タイプ

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止タイプ	822	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
快適環境形成タイプ	0	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養タイプ	5,652	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林
自然維持タイプ	2,117	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用タイプ	155	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林

# 国有林野の維持及び保存（自然維持タイプ）

## ○保護林

池郷森林生物遺伝資源保存林など2箇所953haの保護林を設定し、定期的にモニタリング調査を行い、林木の遺伝資源の保存に取り組んでいます。



種類	名称	特徴等	面積(ha)
森林生物遺伝資源保存林	池郷	冷温帯の落葉広葉樹林を代表するブナ林が広く見られ、紀伊半島を特徴づける希少な野生動植物が生息・生育しており、森林と一体となって生物の遺伝資源を森林生態系内に保有し、将来の利用可能性に資することを目的とした保存林	702.92
植物群落保護林	鳴川山ウラジロモミ・コメツガ	大峰山系における代表的なウラジロモミ、コメツガ天然林の保存	249.58



# 世界文化遺産貢献の森林

○世界文化遺産が所在する地域の国有林を一定のまとまりで「世界文化遺産貢献の森林」として設定しています。

(紀伊山地の霊場と参詣道)



世界文化遺産貢献の森林 国有林位置図





# 世界文化遺産貢献の森林

- ①参詣道と一体となった森林景観の保全
- ②参詣道と森林のかかわりを学習する場としての活用
- ③木造文化財等の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給

などの取組を行い、森林の重要性や森林と文化財とのかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点として整備しています。





# 国有林野の維持及び保存(森林空間利用タイプ)

## ○巨樹・巨木の保存

「森の巨人たち100選」に選ばれた「持経千年桧」の適切な保護管理に努めています。



白谷山国有林(十津川村)

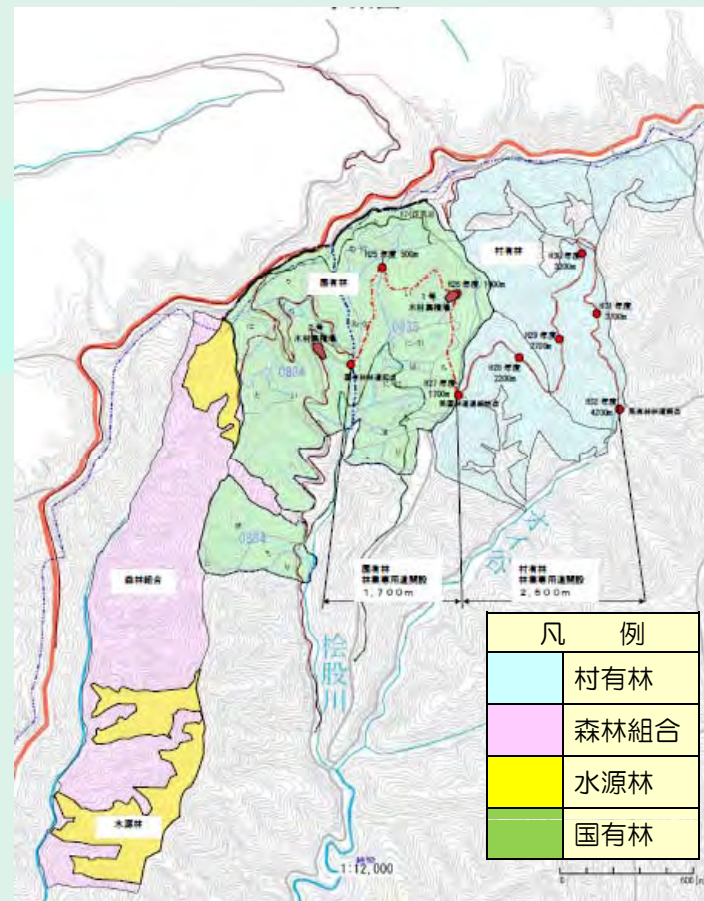
# 民有林と国有林との連携(水源涵養タイプ等)

## ○森林共同施業団地の設定

隣接した民有林と国有林が連携して路網の作設や間伐等の森林整備、間伐材の販売等を実施する「森林共同施業団地」を設定しています。



桧股林業専用道現地検討会



桧股地区森林共同施業団地位置図(野迫川村)

団地名	面積(ha)		連携した施業内容
桧股地区	民有林	209	効率的な路網の配置と高性能林業機械との組み合わせによる計画的な間伐の実施
	国有林	120	
	計	329	



# 林産物の供給等(水源涵養タイプ等)

## ○木材の供給

路網、高性能林業機械、列状間伐等の3つを組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進し、多様で健全な森林整備を通して生産される木材の計画的な供給に努めています。

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐等の導入





# 主要事業に関する事項（平成23年度～27年度）

## ・伐採量

現行計画量 (m3)	
主伐	間伐
1,173	93,407

## ・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
-	33.00

## ・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
2.61	-	-

## ・林道

現行計画量		
	箇所数(箇所)	延長(m)
開設	2	2,500
改良	-	-



健全な森林の育成、生物多様性の保全、二酸化炭素の森林吸収源対策の目標達成のため、間伐を積極的に進めています。

## ・治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	39
保安林整備 (ha)	8.41

# 参考

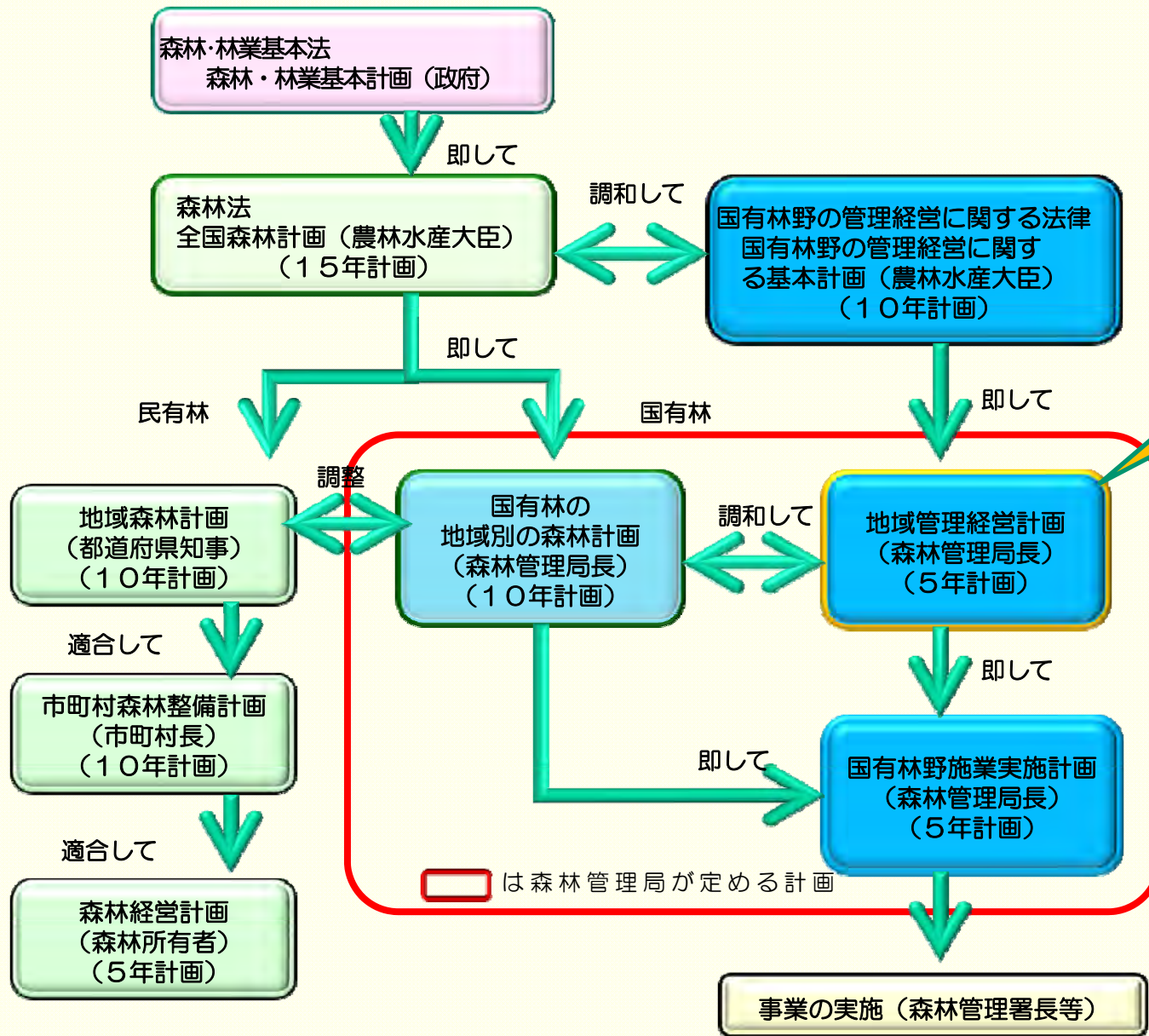
# 地域管理経営計画とは

国民の森林である国有林野について、公益的機能の維持増進を旨とした管理経営の基本事項を定める「5年間」の計画です。

○ 森林計画は全国に158ある計画区という単位ごとに作成されています。

○ 近畿中国森林管理局では管内の40計画区\* について順次計画を作成し、それに基づいて国有林の管理経営を行っています。

\*地域管理経営計画・国有林野施業実施計画の対象は38計画区



□ は森林管理局が定める計画

事業の実施（森林管理署長等）